

自分ごととして考えて

10代のデジタル性暴力被害

自撮りや会員制交流サイト(SNS)を起因とするデジタル性暴力の現状などについて、NPO法人ぱっぶすの金尻力スナ理事長が4月20日、那覇市内で講演した。性的搾取のない社会の実現に向けて活動するぱっぶすは、被害の相談に応じているほか、被害者に代わり性的画像の削除要請などを行っている。講演では被害の現状や被害者支援、対処方法などを紹介した。

ぱっぶすの金尻理事長 那覇で講演

対処法、支援など紹介

金尻さんは、警察庁の統計から児童ポルノ被害の中でも児童生徒自ら撮影した画像に伴う被害が4割近くを占める傾向を示した。ぱっぶすへの相談件数も近年増加しているという。10代が巻き込まれやすいとし、「性的な写真を送ってしまった」「盗撮された」という相談がとて多いとする。「親に迷惑がかかるのではないかと、相談できずに抱え込んでしまう人もいるという。」

と一般化し、大人との性行為などに抵抗感を抱かせないようにし、「君も犯罪者だよ」などと言いつて機密を保持させたり証拠隠滅を図るという。ぱっぶすがNHKの取材班に協力した実態調査の内容も紹介。「14歳の女子児童」という設定でSNSアカウントを開設したところ、2カ月で200人近くから接近があった。性的な行為を目的としたダイレクトメッセージのほか、思いやりやねぎらいの言葉で親近感や安心感を持たせようとするものもあった。

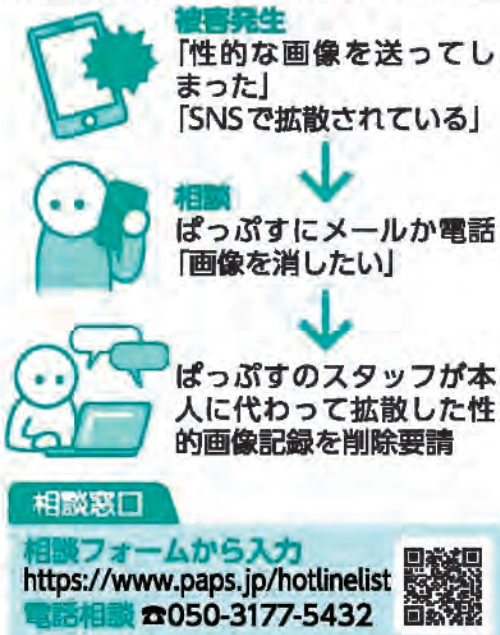
相談員が被害の聞き取りをする時は「その時の状況や気持ち」「こうなっている」「なぜ」を聞き、「なぜ」は聞かないことを心がけている。金尻さんは「人はみんな弱みを持っており、加害する側は弱みを利用する。自分は被害に遭わないと思っている人にこそ自分ごととして捉えてほしい」と話した。

講演は、糸数貴子那覇市議の活動報告会の一環で開かれた。(慶田城七瀬)



デジタル性暴力の被害の現状や支援について講演したNPO法人ぱっぶすの金尻力スナさん(4月20日、那覇市おもろまちの市職員厚生会多目的ホール)

被害に遭った場合の相談の流れの一例



東大COGに行ってきました 3月16日

COGとは、チャレンジオープンガバナンスの頭文字で、市民と行政がつながるチャレンジのコンテストです。沖縄通りの防災を考える「ななほしてんとうむし会」で参加。セミファイナルでプレゼンをして銀賞をいただきました。



令和7年(2025年)5月15日(木曜日) 琉球新報 朝刊 生活 1版 015ページ

「ママは身長100cm」の著者、伊是名夏子さんと政策勉強会
国連ロビー活動と日々の暮らしから見える政治の景色



5月16日、伊是名夏子さんと政策勉強会「国連ロビー活動と日々の暮らしから見える政治の景色」を行いました。

ハッとさせられること、多々ありました。伊是名さんが昨年、国連で女性差別撤廃委員会の傍聴をしたときのこと。委員からの「日本で障害のある女性がどのくらい活躍しているのか」という質問に対して日本政府が「活躍してい

る」と言いつつ、数字を出せなかったということ。

つまり、統計がないという点なのです。例えば企業や行政の障害者枠の採用に占める女性の割合、審議会など委員に占める割合はどうなっているか、実態把握ができていないのです。

障害があり、かつ女性であるということ、二重の差別があること。女性がいきいきとびやかに生きることができる社会づくりは重層的な差別解消のためにも必要だと実感しました。那覇市はどうなっているのか、今後確認していきたいと思っています。

★たかこの議会エッセイ★

「議会だよりの決まりごと」

那覇市議会では、年4回、定例会の後に「なは市議会だより」を編集して発行している。議員一人一人の代表質問、一般質問が載っている。この原稿、質問した議員が毎回それぞれにまとめているのだ。

質問を終えて数日後に、文字数と締め切りと共に、文字起こしされた議事録の未定稿が渡される。文字数に限りがあるために、質問と答弁のすべては書けない。だから、載せたい部分を抜粋することになるのが悩みどころだ。

加えて、「質問」の後に「答弁」で終わるという制限がある。議場で役所側の答弁の後に、なかなか良い指摘をして、熱く語って要望して「それでは次の質問です」と進めてしまっていた場合には、私の大事な熱弁や提案や要望の部分は「議会だより」には載せられない。「再度見解を伺います」と、もう一つ答弁をもらえば、その答弁の前に載せられたのに……と、悔やんでも後の祭り。熱弁抜きだと紙面上では「こんなこと誰でも知っているよ」というような答えを引き出しただけのように見えてしまうのではないかと。パソコンの前でウギヤーと頭を悩ませる。これを何度か繰り返し、質問の順番や再質問も議会だよりのことも念頭に置きつつ工夫するようにしてきた。それなのに今回の6月議会で、またやってしまった。ウギヤーである。

だが、幸いなことに、私は「たかこ通信」で挽回することができる。発行してきて本当によかった！と、今まさにホッとしているところ。

ちなみに議会だよりが、今年度から「なは市民の友」の真ん中に入って配達されることになった。この機会に横書き&左開きに変更している。若干装いは変わっても「決まりごと」は変わっていない。今後も「なは市議会だより」をお楽しみください。